



～がんばった先の笑顔を目指して～

福翔

明治6年7月23日開校

二戸市立福岡小学校 学校だより
発行日 R5. 9. 5
第12号 (文責: 佐藤純子)
二戸市福岡字下川又15
電話0195-23-6155



がんばれ! 陸上と相撲の選手たち!



選手にエールを送る

9月4日(月)の朝、「第60回二戸地区小学校陸上競技大会」〔9/6(水):一戸町立総合運動公園陸上競技場〕と「第52回二戸市内小中学校相撲競技大会」〔9/9(土):中央小学校相撲場〕の壮行式を行いました。

陸上競技大会は、二戸市、九戸村、一戸町、軽米町の小学校21校から、選手が300人以上参加して行われる大きな大会です。福小では選手のほかに6年生全員が会場に行き、大会補助役員として大会を支えたり、応援団として大会を盛り上げたりします。

相撲は、去年は大会が中止となり残念な思いをしましたが、今年度は開催できそうです。

練習したことや周りからの応援を力に変え、全力を出し切ってきてほしいです。



選手の紹介

安全で楽しい
お祭りのために

覚えておこう「イカのおすし」!

今週末に迫った「二戸まつり」。久しぶりに制限なしの開催となり、市外からも多くの人を訪れ、大いに盛り上がるのが予想されます。

子どもたちの気持ちが浮かれてしまうこと、大人の目が行き届かない場面が出てくることから、事件・事故に巻き込まれる危険性も増します。ご家庭で防犯意識を高めたり、「約束事」を決めたりして、子どもを守りましょう。

よい子のやくそく



おぼえてね!

イカ 知らない人について
イカない!



の 知らない人の車に
のらない!



お おおきな声
でさけぶ!



す すぐ
にげる!



し 家の人や先生に
しらせる!



学校がお休みの日でも、学校(0195-23-6155)への電話は転送されて副校長に繋がります。

《「まなびフェスト」や学校経営等へのご意見・ご要望》その2 *最終

○最近、マチコミの連絡が少なくなっていると思います。

⇒マチコミで流す内容は昨年度と変えていませんので、必要なことは流れているかと思います。マチコミを始めたころ、マチコミメールの回数が多いことを保護者から指摘され、今の形に落ち着いてきたと聞いています。今後、台風シーズンになりますので、回数が増えることが予想されます。

○いろいろと取り組みが多いですが、マイペースで取り組もうと思います。先生方もマイペースでいきましょう。

⇒今の子どもたちは忙しいなと思うことはたくさんあります。学ばなければならないことや行事も多く、地域での役割や期待も大きいです。その中で、自分のゴールを決め、自分のペースで取り組み、自分で評価（認める）することは大事だと思います。学校でも、そのときどきの重点項目を確認し、心に余白をもちながら、子どもたちと学んでいきたいと思っています。

○いろいろな体験をさせていただき感謝しています。

⇒学校行事のほかにも、二戸市教育委員会で行っている「ふるさと探訪塾」とか人権擁護委員会の方による「人権の花運動」など、学校だけではできない体験型学習が多く行われています。様々な体験が子どもたちの五感を刺激してくれることを期待しています。

○お弁当の回数を減らしてほしいです。

○他学年のイベントがある日、全学年お弁当の日があったが、イベントのある該当学年のみの給食（人数分）を減らし、他は給食で良いのではないか。その度にお弁当持参だと、保護者の負担が大きい。

⇒年間の給食回数は市内全校175食と決まっています。令和5年度の年間授業日数は202日ですので、午前授業がなければ27日間はお弁当の日となります。各学年のお弁当の日をずらすと、複数人のお子さんを通わせているご家庭では、お弁当を作る日が増えてしまいますので、今のやり方が、一番ご負担が軽いかと思います。ちなみに、子どもたちはお弁当の日をととても楽しみにしています。

○授業、分かりやすく伝えて下さい。

⇒「授業の内容が分かったと感じますか」というアンケートでは、95%の子どもたちが肯定的な回答をしています、「分かった」と感じる子100%を目指して、授業力の向上に努めていきます。

○スポ少に参加するようになり、他の学校の子とも交流するようになり、聞こえてくるのは、福小は宿題が多いようだということです。市教研？などで話し合われているのかとは思いますが、本当に福小が多いのだとしたら、学校の方針なのでしょうか？

⇒二戸市教育委員会では、教育振興運動の一つとして「みんなではぐくむ二戸っ子」という家庭教育の手引き（右図）を小学校に入学する児童全員に配布しています。（冊子の内容は、下のQRコードで確認できます。）その中では、小学校低学年30分、中学年40分、高学年60分の家庭学習を推奨しています。福岡小学校のまなびフェストでは低学年30分、中学年45分、高学年60分を目標として掲げているので、確かに中学年の目標時間は5分長いですが、必要な時間だと考えています。あるサイトでは小学生の家庭学習時間の目安は「学年×15分」と紹介されています。多いように感じるかもしれませんが、2015年の全国調査では、小学生の勉強時間は平均約1時間30分という結果も出ていましたので、妥当な目安かもしれません。

さて、本校では、学年の目標時間に応じた量の宿題を出しているつもりです。盛岡地区をはじめ他地区に勤務経験のある先生方に聞きましたが、本校の宿題の量は多いとは思わないということでした。私は中学校教員を30年勤めましたが、小学校のうちにある程度の量の家庭学習に取り組める力、学習習慣は必要だと思っています。（ちなみに、「みんなではぐくむ二戸っ子」の中学校版では、中学生の学習時間の目安は90～150分です。）

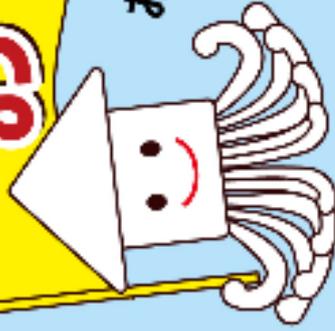
しかし、内容の難易度によっては多く感じる場合もあると思いますし、負担感が大きいお子さんもいらっしゃるかもしれません。大切なのは学習時間の長さよりも、家庭学習を習慣化させることですので、家庭学習の量についてお悩みの際は、担任までご相談ください。



よい子のやくそく

イカのおすし

おぼえてね!



イカ

知らない人について

イカない!



の

知らない人の車に

のらない!



お

おおきな声 でさけぶ!



す

すぐ にげる!



し

家の人や先生に

しらせる!

